

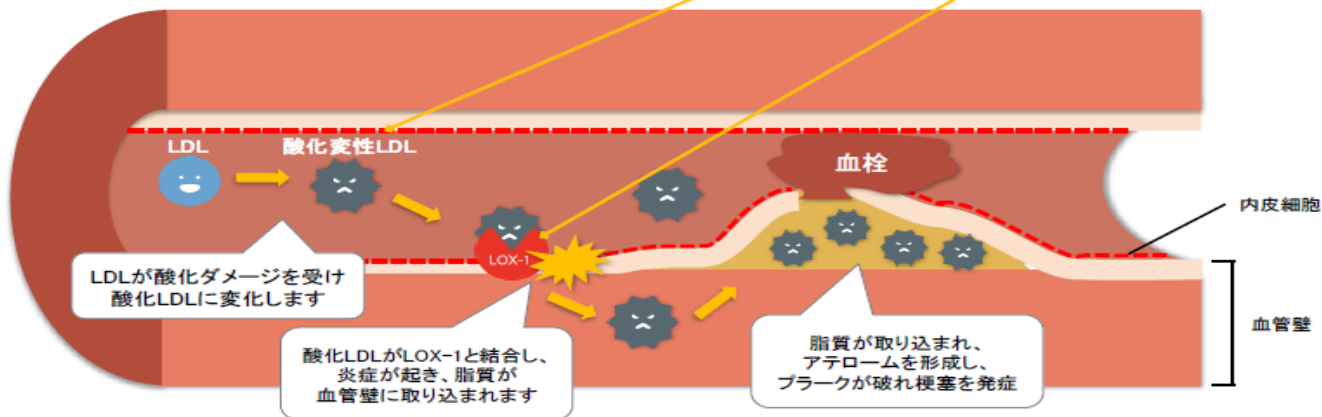
LOX-index®は、動脈硬化の進行から脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価する指標です。

国内、約2,500名を対象として約11年追跡した研究成果をベースに開発された血液検査です。

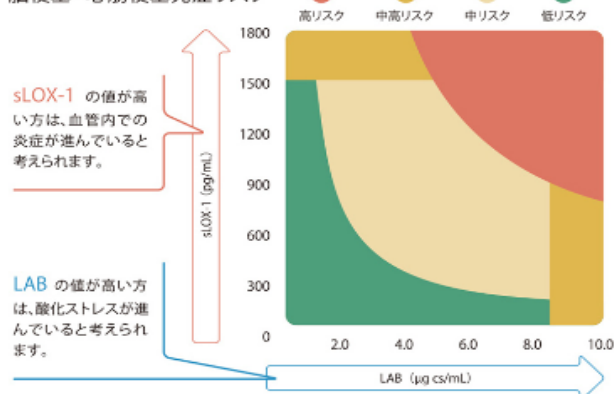
LOX-indexは動脈硬化の初期段階に注目しLDLが酸化した「酸化変性LDL（LAB）」とそれを血管壁内部に取り込むLOX-1の二項目を測定しています。検査ではLABとLOX-1を掛け合わせた値を**LOX-index**として指標にしております。

血中のsLOX-1（可用性LOX-1：血中に放出されたLOX-1）とLABを測定し脳梗塞・心筋梗塞発症リスクを4段階で判定します。

$$\text{LOX-index}^{\text{®}} (\text{ロックスインデックス}) = \text{酸化変性LDL} \times \text{sLOX-1}$$



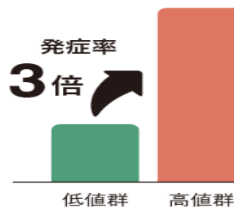
脳梗塞・心筋梗塞発症リスク



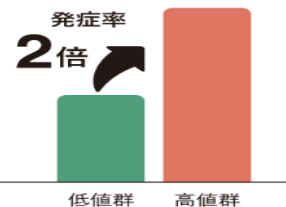
LOX-index®と疾患リスク

日本国内で行われた追跡研究の結果、LOX-index®の値が高いと将来の脳梗塞の発症率は約3倍、心筋梗塞発症率は約2倍となることがわかっています。

脳梗塞発症との関係



心筋梗塞発症との関係



こんな方がLOX-index®を受診しています

- 肥満気味である
- 脂っこい食事や塩辛い食べ物をよく食べる
- 運動不足である
- いつもの健康診断だけでは不安だが時間がない
- たばこを吸っている、もしくは吸っていた
- 家族や親せきが脳梗塞・心筋梗塞を発症したことがある



・LOX-indexは未病に近い状態から将来の発症リスクを評価し、早期に予防につなげるための検査です。

注意事項 ①リウマチ・妊娠中・出産後（3か月後）、発熱がある場合は検査数値が高く出る可能性があります

②脂質異常治療薬、抗血小板薬、降圧薬を服用されている場合は数値が低く出る可能性があります。

（本検査は薬を服用されている現状のリスクを評価しています）

結果報告書と受診していただいた皆さまへ（小冊子）を同封いたします。

高値であった場合の二次検査に関しては、次年度健診時に頸動脈エコーや血圧脈波検査を受けていただく事をお勧めします。